



JFPUG

Japan Function Point User Group

日本ファンクションポイントユーザ会

<http://www.jfpug.gr.jp>

会長挨拶

JFPUGは、「ソフトウェア定量化の推進を通じてソフトウェア市場の発展に貢献する」をミッションとしてファンクションポイント法の普及やソフトウェア定量化手法の利用技術の確立に努めています。

世の中の急激な変化に対応しつつも、“ものさし”としての定量化技術の価値を訴求するため、相場観の醸成・定量化技術の組織適用・プロジェクトにおける定量化技術の活用促進・学びの場の提供といった活動を展開しています。

ユーザ企業・ベンダ企業等を問わず、様々な立場の会員が集まり、業界や会員の課題を解決することを目指しています。

ぜひ一緒に業界の発展を目指し、定量化技術を磨いていきましょう。皆様の参加をお待ちしています。



会長 藤貫 美佐

JFPUGの概要

名称 日本ファンクションポイントユーザ会
IFPUG (International Function Point Users Group) 日本支部
ISBSG (International Software Benchmarking Standards Group Ltd.) 会員

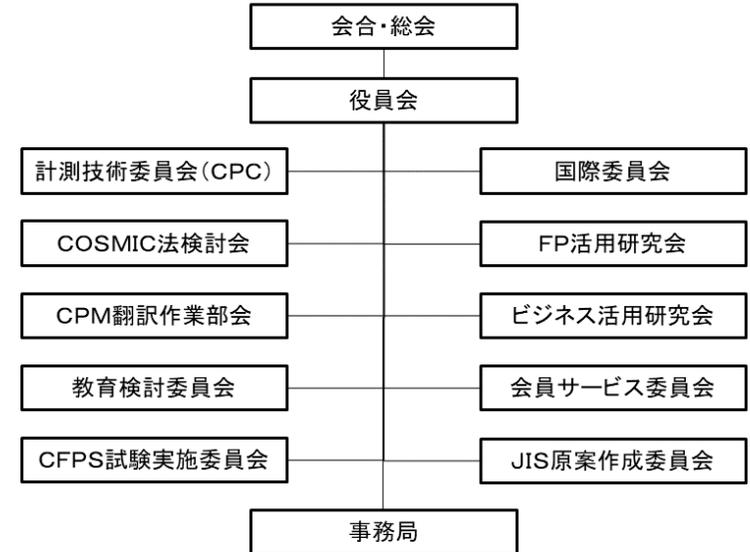
英文名 Japan Function Point Users Group (略称: JFPUG)

会長 藤貫 美佐 (株式会社NTTデータシステム技術)

JFPUGの目的 本会は、米国にあるファンクションポイント法のユーザ団体である、International Function Point Users Group (略称: IFPUG 以下IFPUGとする) の規約に則った正規の日本支部です。本会は、IFPUGが唱えるファンクションポイント法の日本国内における理解と普及、その利用法の検討、さらにファンクションポイント法を通じたソフトウェアの定量化手法、さらにはソフトウェア一般の定量化手法の検討を主な目的としています。また、これらの活動を通じて会員相互の情報交換と親睦を図ることを目的としています。



組織図



JFPUGの主な活動

JFPUGは、会の運営を会員相互の協力により行っています。
この相互協力の下、次のような活動を行っています。

1. 定例会合の開催

JFPUGでは年に4回、定例会合を開催しています。会合はリモートで開催し、ソフトウェアメトリクス分野の著名人による講演や会員企業におけるファンクションポイント法の導入事例、IFPUGやISBSGの最新動向の紹介等を行っています。ソフトウェアメトリクスに関する最新情報の収集や会員相互の意見交換の場として活用いただいております。

2. IFPUGマニュアル等の配布

デファクトスタンダードの1つである、IFPUG発行のFP計測マニュアル（Counting Practices Manual）を翻訳し、会員に無料で配布しています。また、プロジェクトベンチマーキングに関する世界最大の非営利団体であるISBSGに加盟していることから、ISBSG製品およびサービスを割引価格で購入でき、一部のレポートを無料で頒布しています。

3. 教育コースの開催

ファンクションポイントの計測方法を学ぶ教育コース（1日）を、リモートで開催しています。（受講料：非会員2万4千円、会員1万2千円）

4. 日本語によるCFPS試験の開催

IFPUGが主催する、ファンクションポイント法のスペシャリストを認定するCFPS（Certified Function Point Specialist）試験を日本語で受験することができます。また、合格者同士の交流の場（コミュニティ）を設立しており、情報交換を行うことができます。

5. 各種委員会・作業部会の開催

JFPUGでは各種作業部会を設立しています。同じ課題を持つ会員が情報交換を行いながら、課題の解決を目指して活動しています。また、その活動成果を会員へと提供しています。

6. コミュニティ・ネットワーキング活動の開催

参加者同士が双方向にコミュニケーションできるオンラインイベントを開催しています。会員の課題解決やスキルアップ、技術・人財交流を行うことができます。

入会のご案内

会員には法人会員と個人会員の2タイプがあります。法人会員、個人会員を合わせて約130会員であり、そのうち8割以上が法人会員です。詳細は日本ファンクションポイントユーザ会ホームページをご参照ください。皆様の入会をお待ちしております。

会員状況（2021年5月現在）

法人会員：102会員

個人会員：22会員

年会費：法人会員3万円、個人会員1万円（入会金なし）

※年度中途（7月～3月）に入会される場合は、初年度会費の割引があります。

会員になると・・・

- 定例会合（年4回）に参加できます。
- IFPUG法の各種マニュアルを無料で入手できます。
- ファンクションポイント法の教育コースに安価で参加できます。
- 日本国内で日本語に翻訳されたCFPS試験（IFPUG認定ファンクションポイントスペシャリスト試験）を受験することができます。
- 各種委員会や作業部会に参加することができます。
- コミュニティ・ネットワーキング活動に参加することができます。

各作業部会のご案内

計測技術委員会 (CPC)	FP計測ルールの解説・補完 計測上の疑問への回答（リモートでのカウンティング クリニック、会員用Q&A）
教育検討委員会	教育コース（FP計測コース）の実施、教育コースの 企画および資料作成、出張教育の実施
CFPS試験実施委員会	CFPS（IFPUG認定ファンクションポイントスペシャ リスト）の情報交換、CFPS国内試験開催、試験問題の 翻訳
FP活用研究会	FPおよび定量データ活用の課題の対策 FPベースのソフトウェア開発データの収集と結果分析 アジャイルや非スクラッチ開発、新技術に関する整理
ビジネス活用研究会	FP法及び定量データ活用のビジネスにおける活用検討 情報システム受発注における価格モデルの研究
会員サービス委員会	機関誌『JFPUG News』の発行と、JFPUGホーム ページの企画・運営
国際委員会	国際諸団体（IFPUG、ISBSG、COSMICなど）の最新 動向の情報提供
JIS原案作成委員会	FP法とベンチマーキングに関するJIS規格の原案作成、 提案 (財)日本規格協会のJIS原案作成支援事業の適用対象

JFPUGのあゆみ

1994年	IFPUG日本会員連絡協議会として設立
1996年	IFPUGの日本支部として日本ファンクションポイント ユーザ会（JFPUG）発足
1997年	会員向けにファンクションポイント講習会の定期開催を開始
1999年	ISBSGに加盟
2001年	IFPUG認定ファンクションポイント計測者資格（CFPS）の 国内実施を開始
2004年	Vision2010制定
2008年	ファンクションポイント活用法の研究推進活動 （現FP活用研究会）を立ち上げ
2010年	会員向け機関誌「JFPUG News」の発行を開始
2014年	ISBSGの国際イベント IT Confidence 2014 Conference を東京で開催
2015年	ビジネス活用研究会を立ち上げ
2020年	JFPUGビジョンを改定